

# THE NEW MANHATTAN II

DAC • HEADPHONE • PREAMPLIFIER



**MYTEK**

日本語ユーザーマニュアル



**DSD**  
Direct Stream Digital  
**256**



**MQA**

**DXD**  
Digital eXtreme Definition

**VINYL**  
M/C M/M

ユーザーマニュアル Ver. 1.9 / 2018年6月

© Mytek 2018

Manhattan DAC IIのファームウェアはMytek USBコントロールパネル・アプリで簡単にアップデートが行えます。ファームウェアが更新されると、Mytekウェブサイトのsupport/downloadに更新ファームウェアが掲載されます。ファームウェア更新によりMytek製品の動作の詳細が変更されることがあり、これに伴い本マニュアルも定期的に更新されます。

ニュース、ドライバーのアップデート、テクニカルサポート、ヒント、その他の製品情報については、以下のウェブサイトをご覧ください：

<https://www.mytekdigital.jp>

技術サポートが必要な場合、上記ウェブサイトのお問い合わせフォームからご連絡ください。その際はManhattan DAC IIが接続されている機器と接続方法、お使いのOS、アプリケーションなど、使用環境の情報を必ずお書き添えください。

# MYTEK

148 India St.  
Brooklyn, NY  
11222

tel. +1 (347) 384-2687

Manhattan DAC IIを設置して使用する前に、本マニュアルに記載されているすべての情報を必ずご一読ください。

## 内容

1. はじめに .....	5
2. 同梱されているもの .....	6
3. 主な特長 .....	6
4. Manhattan DACからの改良点 .....	7
5. クイックスタート .....	8
5.1 フロントパネル .....	8
5.2 リアパネル .....	9
6. Windowsへのインストールと設定 .....	11
6.1 Windows - USB Audio Class 2ドライバーのインストール .....	11
6.2 Windows - Mytekコントロールパネルのインストール .....	13
6.3 Windows - 本製品を標準の再生デバイスとして指定する .....	14
7. Macへのインストールと設定 .....	15
7.1 OSX - USB Audio Class 2ドライバーのインストール .....	15
7.2 OSX - Mytek Control Panelのインストール .....	15
8. WindowsおよびOS Xでのファームウェア更新 .....	16
9. メニュー画面 .....	17
9.1 操作方法 .....	17
9.2 設定 .....	18
10. MQA - Master Quality Authenticated .....	22
11. リモコン .....	23
11.1 Apple IRリモコンの設定 .....	23

---

11.2 標準タイプ (RC5) のリモコンの設定 .....	23
12. 仕様.....	24
13. 製品の保証 .....	25
安全に関する重要なお知らせ.....	26
警告 .....	27
家庭での電気及び 電子機器の廃棄物の処分に関する情報 .....	27

# 1. はじめに

Mytek DigitalのManhatta DAC IIをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。また、Mytekユーザーのコミュニティへようこそ。

20年以上に渡り、マスタリンググレードのコンバーターやその他オーディオ機器を開発製造してきた経験が、このデジタル/アナログコンバーターに活用されています。その洗練されたオーディオ回路設計によって、「ビットパーフェクト」かつ音質に優れ色付けのない無色透明なサウンドを、スピーカーとヘッドホンで実現します。

Manhattan DAC IIの特長は以下のとおりです

- 最高32 bit / 384 kHzまでのPCM
- DSD64(2.8MHz)、DSD128(5.6MHz)、DSD256(11.2MHz)
- MQA マスタークオリティ・ファイルの再生
- MC/MM対応高精度フォノイコライザー内蔵（オプション）
- Roon Readyネットワークオーディオカード（オプション）
- USB、Toslink（光デジタル端子）、S/PDIF（同軸デジタル端子）、AES/EBU端子を持つその他のデジタルソース機器
- アナログ入力に接続されたその他アナログソース機器

本製品は、Windows、Mac OS、およびLinuxで最高のパフォーマンスが得られるように最適化されています。新開発のMytek Hi-Speed USB（USB 2.0）Audio Class 2対応 32ビット/ 384kHz 整数型インターフェースによって、本製品は低遅延かつ非常に高い動作安定性を実現しています。MytekはThesycon.com社開発によるWASAPIとASIO（DSDネイティブ再生）の両方に対応するWindows用（Win10まで）32ビットドライバーを提供します。Mac OSXおよびLinuxコンピューター、Linuxオーディオストリーミングデバイスの場合、ドライバーは必要ありません。

新しい本製品をお楽しみください。お客様のお幸せをお祈り申し上げます。

Mytek Digital チーム一同

# MYTEK

## 2. 同梱されているもの

- 本体（ゴールド／シルバー／ブラック）
- USB 2.0 ケーブル
- 専用電源コード
- Apple Remote（赤外線リモコン）
- ユーザーマニュアル（本紙）
- スパイクフットおよびスパイク受け（4組）
- 保証書

## 3. 主な特長

- D/A変換：384kHz/32bit（DXD）までのPCM、DSD256（ネイティブ再生時）までのDSD
- ダイナミックレンジ：130dB
- アナログ出力：XLRバランス1系統、RCAアンバランス1系統（同時出力）
- ヘッドホン出力：低能率ヘッドホンの駆動も可能な、リファレンスグレードのハイカレント・高速応答型バランス駆動対応ヘッドホンアンプ部（500mA、6W）、TRSヘッドホン端子2系統搭載（ヘッドホンをバランス接続するには別売のアダプターが必要です）
- 内蔵アッテネーター：ライン出力とヘッドホン出力とで別個に調整が可能な1dBステップのアナログアッテネーター と1dBステップの32ビットデジタルボリュームを選択可能
- Mytek独自のUSB Audio Class 2.0対応USB2.0端子：32bit/384kHzまでのPCMおよびDSD256までのDSDのネイティブ再生に対応するほか、AES、同軸デジタル、光デジタルの各入力にも対応。そのほか、Mytek製DAC複数台を使用時のマルチチャンネル再生にも対応
- AES / EBU入力：1系統（PCM：最高24bit/384kHz、DSD：DSD128 DoP）
- S/PDIF同軸デジタル入力：3系統（PCM：最高24bit/384kHz、DSD：DSD128 DoP）
- TOSLINK光デジタル入力：1系統（PCM：最高24bit/192kHz、DSD：DSD64 DoP）
- SDIF3 入力：DSD64、DSD128、DSD256（ネイティブ入力のみ対応）
- 内部ジッター0.82psのMytek Femtoclockサーキット。マルチチャンネルDSDを含む、マルチチャンネル動作のためのワードクロック入出力を搭載
- 内蔵アナログプリアンプ: ラインレベル入力のほか、オプションの高精度フォノアンプ（MM、MC両対応）

**MYTEK**

とリレー方式により切り替えが可能

- MQAハイレゾデコーダー：認証取得済みハードウェアMQA®デコーダー内蔵
- 高精度RMSメーター、ピークメーターを搭載
- 幅広いデジタルソースを接続できる4つのデジタル入力 (AES/EBU 1 系統、S/PDIF同軸2系統、SPDIF光1系統)を搭載

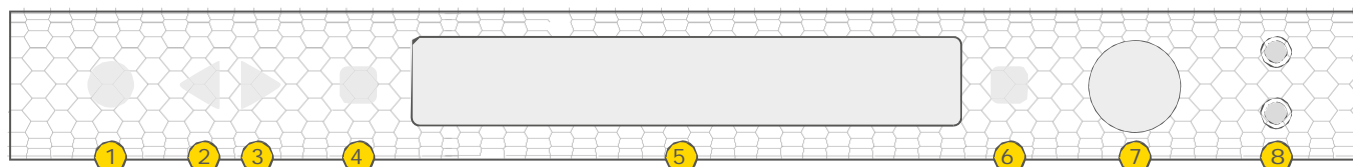
## 4. Manhattan DACからの改良点

Manhattan DAC IIIは、従来モデルのManhattan DACと同じシャーシ、同じ電源、および同じフロントパネル回路を使用していますが、新たに設計されたメインボードを使用しています。このメインボードの改良により、Manhattan DAC IIIは十分な音質向上を実現し、劇的に改善されたディテールと解像度と色付けの全くない最先端のアナログプリアンプ性能を達成しました。

- 世界最高性能の130dB Sabre 9038PRO DACチップセット。
- 32bit/384kHzまでのPCMデータのほか、11.2MHz (DSD256) までのDSDデータのネイティブ再生に対応
- 世界トップクラスのトランスペアレンシーを誇るアナログプリアンプ・アッテネーター
- MQAハードウェア・デコーダー内蔵
- Roon Readyネットワークカード (オプション・別売)
- 改良されたフォノプリアンプカード (オプション・別売)
- 操作しやすくなった新メニューシステム

## 5. クイックスタート

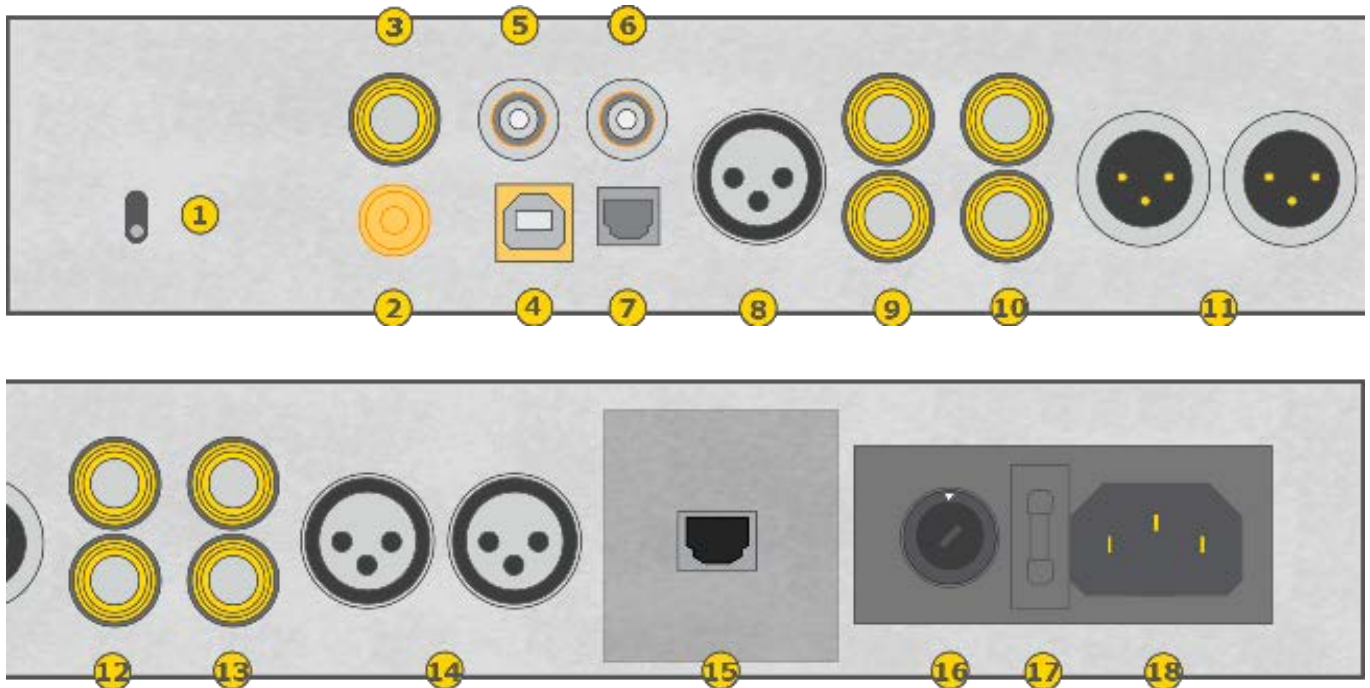
### 5.1 フロントパネル



1. 電源スイッチ；バックライトの色と明るさを調整できます
2. 左ナビゲーションボタン；メニュー操作時に使用します（変更にはロータリーノブを使用します）
3. 右ナビゲーションボタン；メニュー操作時に使用します（変更にはロータリーノブを使用します）
4. ファンクションボタン；オプションを素早く選択したり、デバイスの設定を変更したり、設定したりすることができます
5. LEDディスプレイ
6. ファンクションボタン；オプションを素早く選択したり、デバイスの設定を変更したり、設定したりすることができます（4と同じ機能）
7. ロータリーエンコーダーノブ；このロータリーエンコーダーには回転するノブと押し込むボタン機能があります。主に、ボリュームの調整に使用します。また、本製品の設定のためのメニューのナビゲーション操作時にも用います。メニューモード時には、ノブを1回押すとメインのデフォルト再生画面にも取ります。メイン画面が現れてからノブを1回押すと、ヘッドホンまたはスピーカーいずれかのボリューム調節画面に切り替わります。どちらを選ぶかによって、スピーカーまたはヘッドホンのアイコンが表示され、どちらの出力レベルを調整しているか確認できます。この2つのアイコンはアナログボリューム調節モードの時だけに表示されます。デジタルボリューム調節モードが選択されると、このアイコンは非表示となり、出力レベルをここに調節することはできなくなります
8. ヘッドホン出力端子；デュアルモノ構成、バランス動作モード付き。上側のジャックは絶対正位相のアンバランス接続で、下側のジャックは絶対逆位相のアンバランス接続になります。オプションの標準ジャックx2→4ピンXLR変換ケーブルを使用することで、バランス駆動ヘッドホンの接続が可能になります。 バランス駆動ヘッドホンはアンバランス駆動のヘッドホンと比べると2倍の音量（6dBアップ）となり、出力電圧振幅  $\pm 12V$ , 出力インピーダンスは $5\Omega$ 以下となります



## 5.2 リアパネル



1. ヘッドホンゲインスイッチ；ヘッドホンによって音量が異なるので、このスイッチでそれぞれのヘッドホンに最適な音量に調整します
2. フォノ入力用GND端子
3. S/PDIF同軸デジタル入力1；384kHz/24bitまでのPCM信号のデジタル入力が可能です。また、DSD128までのDSD信号のDoP入力も可能です。この入力は、USB2.0接続を介してコンピューターにデジタルオーディオを送信するためにも使用できます。最良の結果を得るには高品質の75ΩデジタルRCAケーブルをご使用ください
4. Mytek独自のUSB Audio Class 2.0対応USB 2.0端子；最大で384kHz/32bitのPCM及びDSD256まで対応し、AES/EBU、S/PDIF、およびTOSLINKからの信号も受け付けます。また、このUSBインターフェースを使用することで、複数のMytek製品をマルチチャンネルで動作させることができます
5. ワードクロックBNC入力；プロフェッショナル向けのクロックディストリビューターを用いることで、クロックの分配や複数ユニットの同期、DSDリファレンスクロックを使用できます。また、外付けのマスタークロックユニットにManhattan IIを接続することもできます。しかし、弊社はMytekフェムトクロックを内蔵する内部クロックを使用してMytek製品を使用することをお勧めします。これは内蔵されているMytek FemtoClockが一般的に外部から接続されるクロックソースよりも遥かに優れる(ジッター値 1ps未満)ためです。
6. ワードクロックBNC出力；業務用で192kHzおよびDSDリファレンスクロックの分配をするために使用されます。0.82psの内部ジッターを誇る“Mytek FemtoClock Generator (tm)”をワードクロック入力と出力で利用することができます（マルチチャンネルDSDを含む各種マルチチャンネル動作のために複数台での動作も可能です）
7. 光入力(Toslink / ADAT)；最大192kHz/24bitのデジタル入力が可能です。DSD64までのDoP標準入力も可

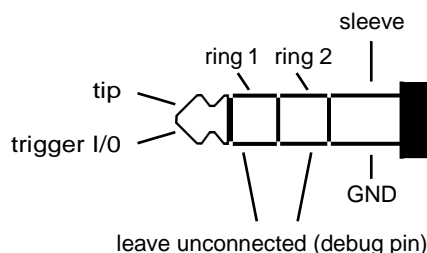
能です。この入力、USB2.0接続を介してコンピューターにデジタルオーディオ信号を送信するためにも使用することができます。最良の結果を得るには、短い高品質なTOSLINKケーブルを使用して下さい。特別なグラスファイバー製のTOSLINKケーブルであれば、通常のプラスチックファイバー製ケーブルよりも低ジッターかつ長時間の使用に耐えるでしょう

8. AES/EBU入力；最大384kHz/24bitのデジタル入力が可能です。DSD128までのDSD DoP入力も可能です。この入力、USB2.0接続を介してコンピューターにデジタルオーディオを送信するためにも使用できます
9. S/PDIF同軸出力2及びS/PDIF同軸入力3；これらは384kHz/24bitまでのデジタル入力が可能です。これらの端子に入力された信号はUSB2.0ポートからコンピューターにデジタルオーディオ信号を伝送することができます。また、DSD128までのDSD DoP入力も可能です。最良の結果を得るには高品質の75ΩデジタルRCAケーブルをご使用ください

**注記：これらの2つの入力は、プロフェッショナルなDSD録音機器（TASCAMマスターレコーダーなど）で使用するために2つのBNC -> RCAアダプターを備えたステレオSDIF2/3 DSD入力としても機能します。**

10. RCAアンバランス・アナログ出力
11. XLRバランス・アナログ出力
12. RCAアンバランス・アナログ入力
13. RCAアンバランス・アナログ入力
14. XLRバランス・アナログ入力
15. Roon Readyネットワークカード（オプション）；Manhattan DAC IIを192kHz/24bit、DSD64対応のネットワークオーディオプレーヤーとして使用できるようになります。RoonおよびDLNA/UPnPと互換性があります
16. 電源スイッチ；115V/230V 50/60Hzのリニアパワーサプライを内蔵しています（日本向け出荷製品は100V/230Vのトランスを搭載しています）
17. 電源フューズ；20mm長、2A、T型（スローブローオフ）のフューズを使用してください。フューズアッセンブリー内部にスペア用フューズ1本を格納しています
18. IEC電源インレット；115V/230V標準コネクター（日本向け出荷製品は100V/230V）

4 pole plug diagram



## クイックスタート - AES/EBU、SPDIF及びToslinkでの再生

- アナログ出力をご使用になるパワードスピーカー、パワーアンプ、プリアンプに接続します（代替方法としてヘッドホンも使用可能です）
- CDプレーヤーなどのデジタルソースを本製品に接続します
- プレーヤー、パワーアンプ、本製品の電源を入れます
- 本製品の電源を入れると、理想的な音質になるように開発チームが厳選したデフォルト設定で起動します
- お聴きになりたい入力を選択します

**ご注意！**：お使いの機材にダメージを与えないために、全ての接続が完了するまでアンプやパワードスピーカーの電源を入れないでください。

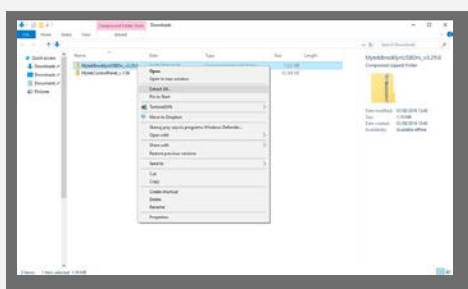
## 6. Windowsへのインストールと設定

- アンプの電源を切り、本製品のアナログ出力を後段の機器（例：アンプ）のアナログ入力に接続します。XLRバランス出力端子は業務用オーディオ機器との接続に、RCAアンバランス出力は民生用オーディオ機器との接続に用いるのが一般的です
- 本製品を正しく使用するために、USB Audio Class 2ドライバーをインストールする必要があります。Mytekコントロールパネル・アプリは後でインストールしても構いません。ドライバーとMytek コントロールパネルはそれぞれ個別のインストールプログラムになります

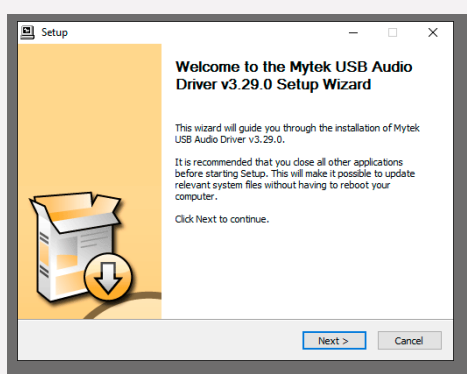
### 6.1 Windows - USB Audio Class 2ドライバーのインストール

インストールを簡潔に行うために、本製品をコンピューターに接続する前にドライバーをインストールすることを推奨します。最新のドライバーは [mytekdigital.com](http://mytekdigital.com) または [mytekdigital.jp](http://mytekdigital.jp) から入手してください。

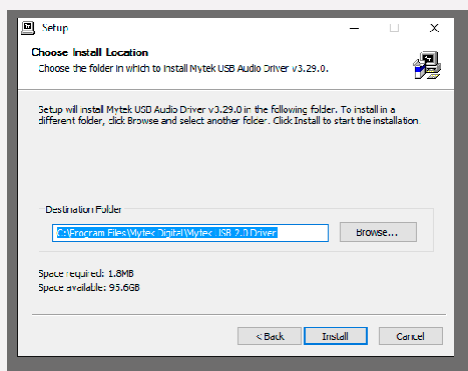
1. MytekUSB2Drv.v4.xx.x.zip ファイルを探し、zip アーカイブを右クリックして「ここに展開」を選択して、アーカイブの内容を展開します。



2. MytekUSB2Drv.v4.xx.x.exe ファイルをダブルクリックすると、インストールが自動的に開始します
3. Setup.exe が起動したら「Next」をクリックします。

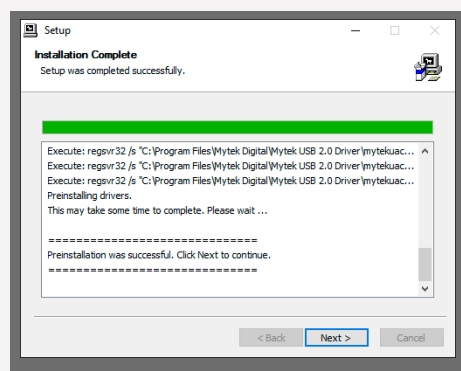


4. インストール先を選択します。デフォルトの場所は「C:\Program Files\Mytek Digital\Mytek USB 2.0」です。このままにしておくことをお勧めします。インストール先を変更する場合は、「browse…」を選択して場所をカスタマイズしてください。「Install」をクリックします。

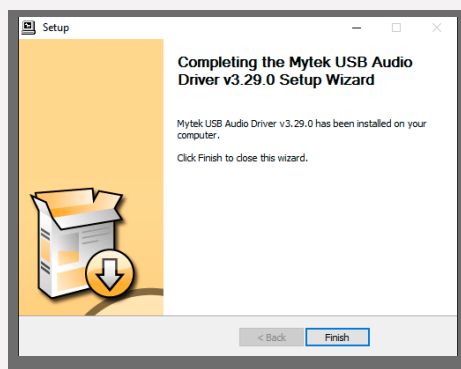


5. Setup.exe は Mytek ドライバーをインストールします。この処理が完了するまで数分掛かります。

6. Setup.exe が終了したら、「Next」をクリックします。



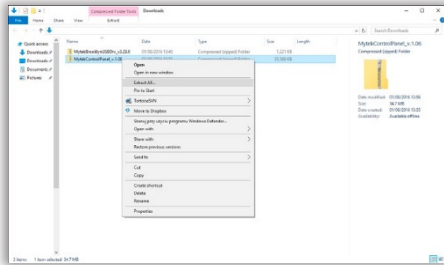
7. 「Finish」をクリックして、次に「Yes」をクリックするとインストールが終了します。次のステップで本製品をコンピューターに接続します。



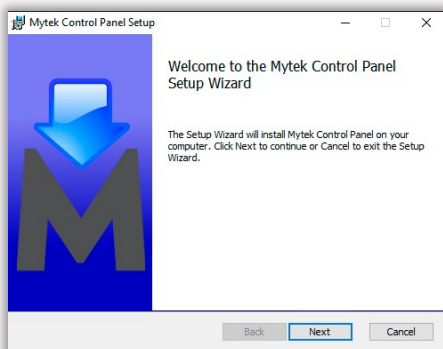
8. 本製品をご使用のコンピューターの USB ポートに接続します。
9. Mytek コントロールパネルを起動し（すでにインストール済みの場合）、ドライバのインストールを確認します。Mytek コントロールパネルがデバイスを表示し、全ての選択項目にアクセスを許可していれば、ドライバのインストールに成功しています。

## 6.2 Windows - Mytekコントロールパネルのインストール

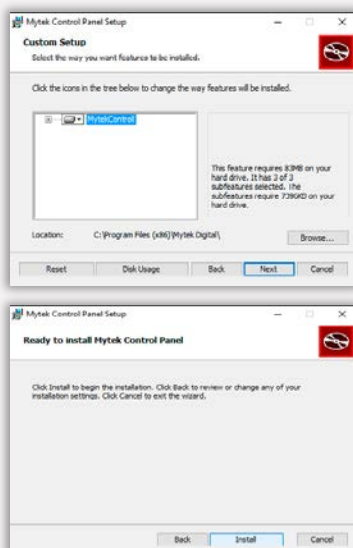
1. MytekControl.zipファイルを探し、zipアーカイブを右クリックして「ここに展開」を選択して、アーカイブの内容を展開します。



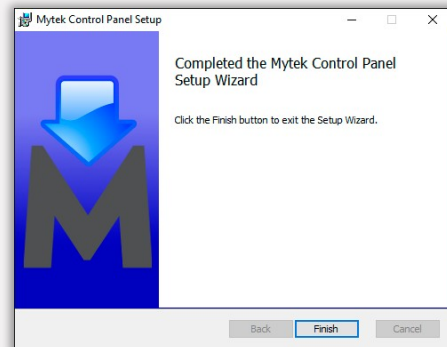
2. WindowsインストールパッケージファイルをダブルクリックしてMytekコントロールパネルをインストールします。MytekControl セットアップウィザードが起動したら「Next」をクリックし、ライセンス内容に同意して、もう一度「Next」をクリックします。



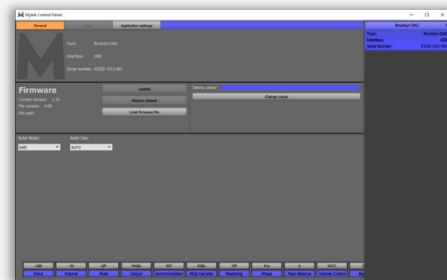
3. 全ての選択項目は「Custom Setup」メニュー内で選択します。「Will be installed on local hard drive」を選択し、それぞれの項目のインストールを確認してから、「Next」、さらに「Install」をクリックし、インストールを開始します。



4. 「Finish」をクリックして、インストールを完了します。

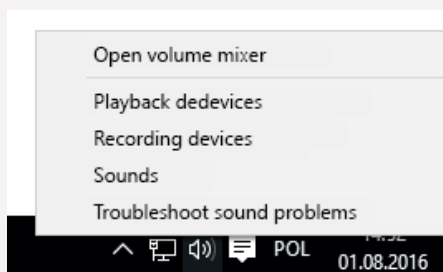


5. Mytekコントロールアプリを起動して、インストールできているか確認します。Mytekコントロールアプリが本製品をシリアルナンバー付きで表示し、全ての項目に対してアクセスできていれば、インストールは成功しています。

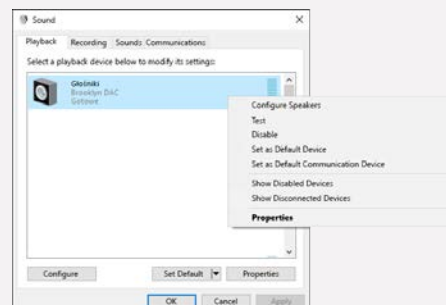


## 6.3 Windows – 本製品を標準の再生デバイスとして指定する

1. 画面右下の通知エリアのスピーカーアイコンを見つけ、右クリックをして、本製品を標準のWindows再生デバイスに設定します。コンテキストメニューから「再生デバイス」を選択します。



- 2 「Speakers Manhattan II DAC」を右クリックし、「既定のデバイスとして設定」を選択します。



**ご注意！** ASIOドライバーを使用する業務用オーディオ（DAW）アプリケーション（例：Cubase、Samplitude、Reaperなど）や特定のメディアプレーヤー（Jriverなど）は、異なる方法で設定を行う必要があります。特定のメディアプレーヤーの設定方法は [mytekdigital.com](http://mytekdigital.com) または [mytekdigital.jp](http://mytekdigital.jp) のサポートページをご覧ください。

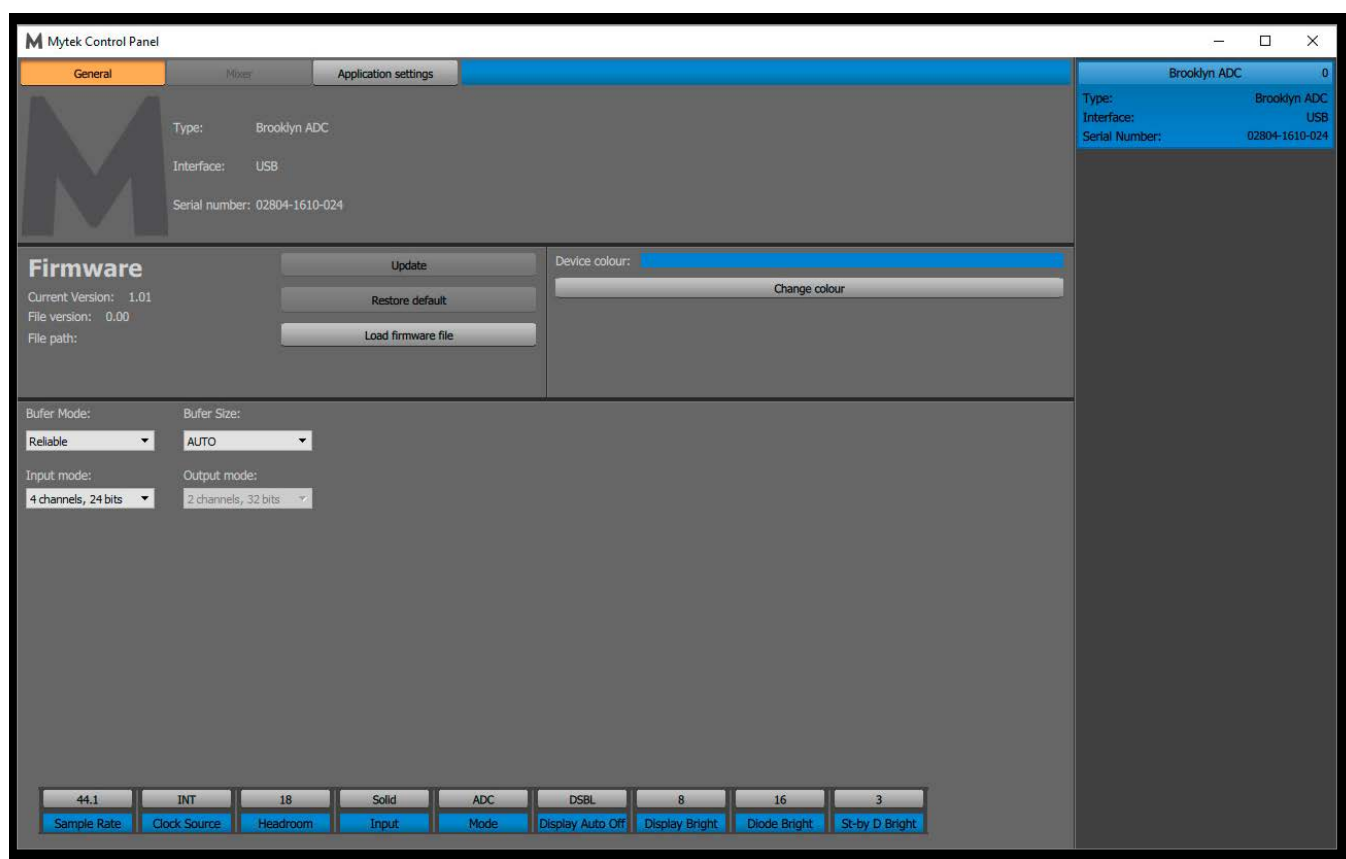
## 7. Macへのインストールと設定

### 7.1 OSX – USB Audio Class 2ドライバーのインストール

本製品に搭載されている専用設計のUSB2.0コントローラーは、ドライバー無し（プラグ・アンド・プレイ）でMacでの使用が可能です。本製品名がMacのシステム環境設定内にあるサウンドの項目内に自動的に表示されますので、「サウンドを出力する装置を選択」の項目内で本製品を選択してください。

### 7.2 OSX – Mytek Control Panelのインストール

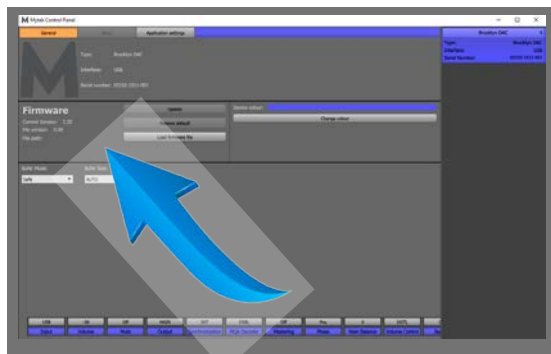
Mytek Control Panelをインストールするには、MytekControlPanel\_v.1.xx.dmgファイルにあるMytekアプリケーションファイルを「Applications」システムフォルダーにドラッグ&ドロップします。最新のMytek Control Panelアプリケーションの最新版は弊社ウェブサイトのリンクからダウンロードしてください。





## 8. WindowsおよびOS Xでのファームウェア更新

本製品のファームウェアの現在のバージョンはMytekコントロールパネルの「General」タブから確認することができます。



- ファームウェアは、USB2.0ポートとMytekコントロールパネル・アプリケーションを使用してアップデートすることができます。これにはUSB2.0ドライバー（Windows PCの場合）とMytekコントロール・アプリケーションが事前にインストールされている必要があります。mytekdigital.comまたはmytekdigital.jpにアクセスして、最新のドライバーとファームウェアをダウンロードしてください
- ファームウェアの更新を始める前に、接続しているパワースピーカーやパワーアンプの電源を切ることをお勧めします

以下のステップに従って、ファームウェア更新を行ってください。

1. mytekdigital.com またはmytekdigital.jpから最新のファームウェアファイル(\*.mfb) をダウンロードします
2. 「Load firmware file」 ボタンをクリックし、新しいファームウェアをブラウズし、次に「Open」 をクリックします
3. 「Update」 ボタンを押して、本製品のメモリーにファームウェアをアップロードします
4. ダイアログボックスが表示されたら、「Yes」 をクリックし、選択を確定します。プログレスバーが現れ、フラッシュメモリーへの書き込み完了までどのくらい掛かるかを表示します
5. 更新が完了すると、本製品はリセットを行い、スリープモードに入ります。ロータリーノブを1回押して電源を入れます。本製品が再起動し、ファームウェア更新が完了します。コンピューターをリブートする必要はありません

ファームウェア更新が失敗する時は、以下の手順に従ってください。

1. 本製品の主電源を切ります
2. フロントパネルの一番左にある三角形のボタンを押しながら主電源を入れます
3. 本製品はブートローダーモードで起動し、MYTEKロゴがディスプレイに表示されます
4. 更新作業を再度行ってください



## 9. メニュー画面

### 9.1 操作方法

本製品に搭載されている前面パネルの4つのボタン、ボリュームノブ、および高解像度ディスプレイを使用することで、本製品の設定をすばやく変更することができます。



左矢印、右矢印の形をした△のボタンを使用し、設定画面を切り替えることができます。設定したい項目に移動後、ボリュームノブを回すことで設定を変更します。選択された設定は即座に反映されます。



液晶ディスプレイの左右にある2つの四角（FB1とFB2）にはユーザーが好みの機能を割り当てることができます。設定をしたいボタンを長押しすることで、以下の機能を割り当てることができます。

- MUTE
- MONO
- L-R
- MS
- PHASE
- INPUT
- MQA decoder

## 9.2 設定

### 9.2.1 INPUT

- **USB2** - 384kHz/32bitまでのPCMとDSD256までのDSD再生が可能なUSB Audio Class 2.0に対応したハイスピード対応で専用設計されたUSB入力です。高速で信頼性の高いWindowsドライバーが提供されています。MacとLinuxでは専用のドライバー無しで動作します。
- **AES** - 最大384kHz/24bitまでのPCMデータとDSD128 (DoP) を受信できるデジタル入力です。この入力は、USB2.0を介してデジタル信号をコンピューター (DAW) に録音する用途でも使用することができます。
- **Toslink** - 最大192kHz/24bitまでのPCMデータとDSD64 (DoP) を受信できる光S / PDIF入力です。録音ソフトウェアのデジタル入力の別入力としても使用することができます。
- **SPDF1/2/3** - 最大384kHz/24bitまでのPCMデータとDSD128 (DoP) を受信できる同軸S / PDIF入力です。この入力は、USB2.0接続を介してコンピューターにデジタル信号 (DAW、サウンドエディタ) を録音するためにも使用することができます。
- **SDIF L-R** - DSDフォーマットを受信できるプロフェッショナルなDSD入力 (最大DSD256) です。
- **ANLG 1** - RCAアナログ入力。ラインレベルまたはフォノ・プリアンプ (MM/MC) の場合は、ボリューム・コントロールをバイパスすることが可能です。
- **ANLG 2** - RCAアナログ入力。ラインレベルまたはフォノ・プリアンプ (MM/MC) の場合は、ボリューム・コントロールをバイパスすることが可能です。
- **ANLG 3** - XLRバランス接続が可能なアナログ入力です

### 9.2.2 MAIN OUTS

- **OFF** - 全てのアナログ出力から信号を出力しません
- **ON** - 全てのアナログ出力から信号を出力します

### 9.2.3 BALANCE - (L15/C/R15) 左右の音量バランスを設定します。

### 9.2.4 VOL TRIM - (-12/OFF/+12)

入力に対する出力レベルを個別に調整します。アナログ入力に対してはゲインの調整も可能です。

### 9.2.5 VOL CTRL (Volume control mode)

- **DGTL** (Digital) - 音声出力の音量を超高精細なデジタルアッテネーターでコントロールします
- **ANLG** (Analog) - 音声出力の音量をアナログアッテネーターで調整します
- **BYP** (Bypass) - すべての音量調整回路をバイパスし、可能な限り最もクリーンな音声出力が得られます。ヘッドホン出力がアナログフェーダーでコントロールされている間は、メイン出力が影響を受けます。本optionはBYPASS設定がENBLになっているときに設定することができます

**注記：** 本製品のバイパスモードを有効にする際は、プリアンプの出力レベルが下がっていることをご確認ください。スピーカーが損傷する恐れがあります。

## 9.2.6 BYPASS

- **DSBL** (Disabled) - ボリュームコントロール機能で設定されているバイパス機能を無効にします
- **ENBL** (Enabled) - ボリュームコントロール機能で設定されているバイパス機能を有効にします

## 9.2.7 THEATER

- **OFF** - バイパス機能は無効です
- **ANLG 1/ ANLG 2/ANLG 3** (Analog 1,2,3) - 全てのアナログ出力から信号を出力します

## 9.2.8 MQA

- **ENBL** (Enabled) - MQAデコーダー機能が有効になります。デジタルフィルターはminimum phaseフィルターで固定されます
- **DSBL** (Disabled) - MQAデコーダー機能が無効になります。Masteringメニューを有効にするには、MQAデコーダー機能をオフにしてください

## 9.2.9 MASTERING - 音楽制作環境向けの追加機能です。MQAデコーダー機能がオフの場合にのみ使用できます

- **Off** - 標準はオフになっています。通常のステレオ信号を出力します
- **Mono** - 左右のチャンネルを合成し、モノラル信号を作ります
- **L-R** - ステレオ信号の差分を合成します。モノラル信号を取り除きます
- **MS** - Mono (L + R) とL-Rの組み合わせで、ミッド信号はLとR (モノラル) の和であり、サイド信号はL-Rオペレーションからのステレオ情報です

## 9.2.10 PHASE - 位相切り替え

- **Pos** (Positive) - 正相です (初期設定)
- **Neg** (Negative) - 位相が反転されます (逆相)

## 9.2.11 PCM FILTER shapes

- **FRMP** - 急峻な遮断特性をもつ最小位相フィルター
- **SRMP** - 緩やかな遮断特性をもつ最小位相フィルター
- **FRLP** - 急峻な遮断特性をもつ線形位相フィルター
- **SRLP** - 緩やかな遮断特性をもつ線形位相フィルター
- **APDZ** - 急峻な遮断特性を持つ線形位相のアポダイジングフィルター
- **HBRD** - 急峻な遮断特性を持つ最小位相のハイブリッドフィルター
- **BRCK** - ブリックウォールフィルター

## 9.2.12 DSD FILTER

- **AUTO** - DSD音源に収録されている周波数に応じて自動的にフィルターが選択されます。例：DSD64の場合はLO、DSD128の場合はMED、DSD256の場合はHI。通常の使用においては本モードを選択することを強くお勧めします。
- **LO** - カットオフ周波数47.44 kHzのIIRフィルターが適応されます
- **MED** - カットオフ周波数60kHzのIIRフィルターが適応されます
- **HI** - カットオフ周波数70kHzのIIRフィルターが適応されます

## 9.2.13 Coax Function

RCA同軸デジタルオーディオ端子は2つのモードに対応しています。

- **SPDIF** - S/PDIFモード
- **SDIF** - SDIFモード：この接続の場合、RCA 端子からBNC端子への変換アダプターが別途必要です

## 9.2.14 SYNC

デジタルの世界では常に1つのハードウェアがマスターとなり、他はスレーブとして動作する必要があります。そのため、CDプレーヤー、デジタルレコーダーなどの外部デジタル機器もこれらの関係を適切に設定する必要があります。誤った設定がなされた場合、ノイズや歪みが信号に生じることがあります。これらの問題を解決するために、本製品では以下の同期オプションが利用できます。

- **INT** (Internal) / USB / 入力された信号は、本製品の超低ジッター内部水晶発振器に同期されます。これにより、最高のDAC性能が保証されます。内蔵の水晶発振器はDACチップセットに近接しているため、一般に外部から供給されるクロックより優れています。この場合、DACはマスターとして動作します。Word Clock OUTはマスタークロック信号を出力します
- **WCK** (Word Clock) / USB、AES、SPDIF1&2、Toslink、SPDIF にて使用することができます。この場合、本製品はスレーブとして動作します

本製品がマスターで、他の製品がスレーブの場合は、本製品のWCK OUTと他の製品のWCK INを接続してください。

本製品がスレーブで、他の製品がマスターの場合は、本製品のWCK INと他の製品のWCK OUTを接続してください。

- **IN** (Input) / AES、SPDIF1&2、Toslinkで有効です。本製品はスレーブとして動作します
- **44.1 - 192 kHz** (Internal) / AES、SPDIF1&2、Toslinkで有効です。本製品はマスターとして動作し、本製品のWordClock Outからクロック信号を出力します
- **x64 - x256** (Internal) / SPDIFで有効です。本製品はマスターとして動作します

## 9.2.15 BRIGHTNESS - (1 - 16)16段階でディスプレイの輝度を調整します

## 9.2.16 METERS

- **OFF** - VUメーターを無効にします
- **ON** - VUメーターを有効にします

## 9.2.17 DISP RATE

- **OFF** - サンプリングレートに関する情報およびアナログ入力に関する情報をディスプレイに表示しません
- **ON** - サンプリングレートに関する情報およびアナログ入力に関する情報をディスプレイに表示します

## 9.2.18 AUTO OFF (Display Auto Off)

液晶ディスプレイの自動消灯時間を設定することができます。DSBL（無効）/ 3s / 5s / 10s / 15s / 30s / 45s / 60s / 90s の中からディスプレイの自動消灯までの時間を選択します。ディスプレイが消灯している間でも、音楽を試聴できます。再びディスプレイを点灯させるには、ボリュームノブを含むフロントパネルのボタンのいずれかに触れてください。

## 9.2.19 AUTO RET (Auto Return)

画面復帰までの時間を設定することができます。DSBL / 3s / 5s / 10s / 15s / 30s / 45s / 60s / 90s / の中から、デフォルト画面への復帰時間を調整します。

### 9.2.20 Remote (Remote Control mode)

- OFF - リモコンをしません
- RC5 - RC5規格に準拠したリモコン信号を受信し、動作します
- NEC (Apple) - バンドルされているアップル社のIRリモコン規格に準拠したリモコン信号を受信し、動作します

### 9.2.21 Remote Addr (Remote Address)

「Remote」機能が有効になっている場合に利用可能です。リモコンのボタンを押すと本製品が自動でリモコン信号の規格を検知して設定します。

### 9.2.22 SERIAL NO. - 本製品のシリアル番号を表示します。シリアル番号を表示するには、本製品のフロントパネルの右の四角のボタンを押してください

### 9.2.23 FIRMWARE - ファームウェアのバージョンを表示します

### 9.2.24 RESTORE ALL - 本製品を工場初期出荷状態へ戻すには、本製品のフロントパネル右上の四角のボタンを押し、確認画面が表示された状態で、再度同じボタンを押してください

**ご注意！：** 上記すべての設定はMytekコントロールパネルからも設定が可能です。

## 10. MQA - Master Quality Authenticated



本製品はMQAデコード機能を搭載しています。この技術は、MQAオーディオファイルやMQAストリーミングコンテンツの再生を可能にし、マスター音源の録音時の音質そのものを提供するものです。MQAオーディオコンテンツは自動的に検出され、MQA/DSDインジケータがどのMQA形式を検出したかを以下のように表示します。

- **MQA** : 有効なMQAデータとしてMQAを検知した場合
- **MQA.** : MQA StudioデータとしてMQAを検知した場合。ファイルは完全に認証済み。アーティストがスタジオで承認したものそのものをリスニングしています
- **MQA ERROR** : MQAデータを検知したが、データストリームに問題がある場合

### MQAとは何か？

MQAはMeridian Audio社が開発した録音・圧縮フォーマットです。また、録音された音楽を洗練された方法でデジタル化して記録するものです。記録されたファイルのサイズが小さく、音楽のダウンロードやストリーミングに適しています。通常、これまでの圧縮音楽ファイルのように音質を犠牲にしません。これはハイレゾの音楽外リーミングがついに現実のものとなったことを意味します。MQAはスタジオで録音された状態のまま楽曲を配信することが可能で、しかも膨大な伝送帯域を必要としません。

### MQAはどのような仕組みか？

MQAはロスレスの192kHz/24bitのPCMファイルを44.1kHz/24bitのPCMファイルが必要とするスペースへ音楽情報を折り畳んで収納することができます。実際には、MQAは44kHzまたは48kHz、24bitのFLACやApple Losslessファイルで配信されます。

## 11. リモコン

本製品は赤外線リモコン対応で、Philips RC5規格を使用しているApple IRリモコンやその他のユニバーサルリモコンでも使用することができます。

- OFF
- RC5
- Apple

### 11.1 Apple IRリモコンの設定

1. 「REMOTE」メニューが表示されるまで本製品のフロントパネルにある三角形のボタンを押します
2. ロータリーノブを回し、「APPLE」オプションを選択します
3. 本製品のフロントパネルにある右側の三角形のボタンを1度押し、次のメニューに遷移し、"REMOTE ADDR"メニューを起動します。
4. Apple IRリモコンの中央の（Enter）ボタンを押します。本製品が自動的に信号を検知します
5. 完了！ - リモコンのペアリングが終了しました

### 11.2 標準タイプ（RC5）のリモコンの設定

1. 「REMOTE」メニューが表示されるまで本製品のフロントパネルにある三角形のボタンを押します
2. ロータリーノブを回し、「APPLE」オプションを選択します
3. 本製品のフロントパネルにある右側の三角形のボタンを1度押し、次のメニューに遷移し、"REMOTE ADDR"メニューを起動します。
4. RC5規格準拠のリモコンのいずれかのボタンを押します。本製品が自動的に信号を検知します
5. 完了！ - リモコンのペアリングが終了しました

## 12. 仕様

### アナログ

- アナログ出力端子：XLRバランス出力1系統、RCAアンバランス出力1系統
- D/A変換の解像度：PCM 32bit / DSD 256 (11.2 MHz)
- PCM サンプリング周波数：44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 / 384 kHz
- ダイナミックレンジ: 130dB
- 出力インピーダンス: 75 Ohm
- ヘッドホンアンプ部: 500mA以上/6W、TRSヘッドホン端子2系統
- 内蔵アナログプリアンプ部: ラインレベル入力、フォノアンプ (M/M・M/C、オプション)、リレー切り替え式
- ハイカレント・高速応答型バランス設計

### デジタル

- USB2.0：最高32bit/384kHzのデータストリームに対応、タイプB端子、ドライバー不要 (Mac、Linuxの場合)
- AES/EBUデジタル入力：最高24bit/384kHz、DSD128 (DoP)
- TOSLINK光デジタル入力：最高24bit/192kHz (シングルワイヤー)、DSD64 (DoP)
- S/PDIF同軸デジタル入力1、2、3：最高24bit/384kHz (シングルワイヤー)、DSD128 (DoP)
- SDIF3 入力：DSD64、DSD128、DSD256 (ネイティブ入力のみ対応)
- ワードクロック入出力：BNC, 75 Ohm
- クロック：内部ジッター0.82psのMytek Femtoclockサーキット、マルチチャンネルDSDを含む、マルチチャンネル動作のためのワードクロック入出力を搭載

### 一般

- USBコントロールパネルによるファームウェア更新：ホームページから更新ファイル入手可能、定期的な機能アップデート
- 電源：デジタル回路用・アナログ回路用分離構造 (各1)、低ノイズ・高速応答型・二重シールド構造リニアパワートランスフォーマー搭載、100VAC
- 消費電力：15VA@230VAC (無負荷時)、32VA@230VAC (150Ω負荷、フルスケール)
- 外形寸法 [W x H x D]：431 x 50 x 291 mm / 1U ラックサイズ
- 重量：8 kg
- 保証期間：2年間



## 13. 製品の保証

全ての本製品は、出荷前に包括的な品質管理と完全なテストを受けています。購入日から2年間、製造上の欠陥および製造に使用された材料に対し、Mytekは最初の購入者に対し、当該本製品の保証を行います。

お客様の誤用、不正改造、事故による故障は、本保証の対象外となります。明示的か黙示的かを問わず、他の一切の保証を行いません。お使いの製品に問題があると思われる場合は、製品を購入された販売店にお問い合わせください。

この保証が適用されない場合でも、現時点までに製造されたすべてのユニットに対して、Mytekは修理サービスを提供します。Mytek修理センターは、アメリカ合衆国、ニューヨーク市ブルックリンのMytek本社、ポーランド、ワルシャワ市（Mytek EU Distribution Office）にあります。

## 安全に関する重要なお知らせ

- この説明書を読み、保管し、記述内容に従ってください。
- 本製品の電源を入れる前に、すべての機器を接続してください。
- 本製品を湿気、雨、液体にさらさないでください。
- 清掃する場合は、乾いた布のみご使用ください。
- 液体や異物が本製品に混入した場合は、本製品の電源を切り、電源からプラグを抜きます。異物を除去するか液体が完全に乾燥するまで、本製品を操作しないでください。ご不明な点がございましたら、Mytek Digital にご連絡ください。
- 換気口を塞がないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
- ラジエータ、ヒーター、ストーブ、その他の熱を発生する機器（アンプを含む）など、熱源の近くには設置しないでください。
- 極性付き電源プラグまたはアース付き電源プラグの安全性を遵守してください。極性付きプラグには2つのブレードがあり、アース側が他方よりも広くなっています。アース付きプラグには2つのブレードとアースピンがあります。この幅の広いブレードやアースピンは、安全のために用意されています。付属する電源ケーブルのプラグが壁コンセントに合わない場合は、古い壁コンセントを交換するために電気技師に相談してください。
- 電源ケーブルを踏んだり、電源プラグ、コンセント、および電源ケーブルが機器から出る箇所で挟んだりしないようにしてください。
- メーカーが指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
- 機器をカートに載せて動かす際には、カートが転倒して怪我をしないようにご注意ください。
- 雷雨や長期間使用しないときは、本製品の電源コードを抜いてください。
- すべての保守サービスは資格のあるサービス担当者に依頼してください。電源ケーブルやプラグを破損した、液体をこぼした、異物が混入した、本製品を雨や湿気にさらしてしまった、正常に動作しなくなった、本製品を落下させてしまった場合など、本製品が何らかの損傷を受けた場合には修理が必要です。

## 警告

スピーカーやヘッドホンから過大な音圧が出ると、聴力障害の原因となります。本製品を安全にご使用いただくため、過度の音圧レベルで長時間のリスニングを行わないでください。

For the customers in the U.S.A. (アメリカ合衆国在住のお客様へ)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

このCEマーキング製品は、欧州共同体委員会が発行したEMC指令に準拠しています。この指令の遵守は、以下の欧州規格への適合を意味します。

- EN55103-1：電磁障害（エミッション）
- EN55103-2：電磁感受性（イミュニティ）

この製品は、E1（住宅）、E2（商業および軽工業）、E3（都市の屋外）、E4（制御されたEMC環境、例えばTVスタジオ）の電磁環境での使用を目的としています。

## 家庭での電気及び電子機器の廃棄物の処分に関する情報

製品、説明書にこのマークが記載されている場合、寿命となった製品や付属品を一般ゴミと一緒に廃棄することはできません。適切な廃棄処理によって貴重な資源を節約し、人体に対して悪影響が生じることを防ぐことができます。

有害物質を適切に処分して製品をリサイクルするために、ユーザーは電気および電子機器廃棄物の回収に協力する義務があります。詳細については、地元の行政機関、廃棄物処理業者、または小売業者にお問い合わせください。



